

教科	科目名	学年	単位数	必修 選択
家庭	保育	3	2	選択

到達目標	<p>家庭の生活に関わる産業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、保育を担う職業人として必要な基礎的な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 保育の意義や方法、子供の発達や生活の特徴及び子供の福祉と文化などについて体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 子供を取り巻く課題を発見し、保育を担う職業人として合理的かつ創造的に解決する力を養う。</p> <p>(3) 子供の健やかな発達を目指して自ら学び、保育に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。</p>
-------------	---

年間スケジュール

期間	単元・項目名・実施内容など	受講に対してのアドバイスなど	備考
1学期中間	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの発達の特性 ・発達と保育環境 ・絵本づくり 	<ul style="list-style-type: none"> ・人間の発達段階を理解し、子どもが生まれながらに持っている「育つ力」について学ぶ。 	
1学期期末	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの発達過程 ・子どもの精神発達 ・保育実習 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの発育、発達を知り、運動機能、感覚機能、言語機能、情緒など色々な側面から学ぶ。 	
2学期中間	<ul style="list-style-type: none"> ・人間関係の発達 ・子どもの生活と養護 ・子どもの遊び ・紙芝居づくり 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもは大人の適切な養護によって健やかに育つことを知り、発達に応じた養護のポイントを学ぶ。 	
2学期期末	<ul style="list-style-type: none"> ・生活習慣の形成 ・健康管理と事故防止 ・保育の意義と重要性 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが生活習慣を身に付けるための援助の方法を学ぶ。 	
学年末	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭保育と集団保育 ・保育の方法 ・行事壁掛けづくり 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもや家庭をとりまく状況が大きく変わっているなか、どのような保育が求められているか学ぶ。 	

評価方法と評価のポイント	<p>知識・技能・・・授業内テスト、課題プリント</p> <p>思考・判断・表現・・・作品、発表内容等</p> <p>主体的に学習に取り組む態度・・・実習内容、実習レポート、作品等</p>
---------------------	--

<p>教科からのアドバイス</p> <p>子どもとかかわる職業を考えている人、子どもが好きな人に選択してほしい教科です。</p> <p>授業時間中に隣のこども園・保育所へ保育実習に行きます。</p>
--